



区のマーク

緑区



実施までの準備

昨年度は、横浜市(医療局、区)が主体となりACP研修を実施しました。ACPに関する基本的な知識や考え方を正しく理解することができましたが、研修修了者による普及・啓発活動まで広げることはできませんでした。今年度は、ACP普及のために、ACPに取り組んでいる緑区の医師を講師として講話を実施し、理解を深めるために、もしバナマイスターを講師としたカードゲームを実施しました。

実施概要

研修タイトル 緑区ACP人材育成研修

実施方法 ハイブリッド開催(集合+オンライン)

日 時 令和5年10月19日(木)18時30分～20時30分

場 所 緑区役所 4階4AB会議室

内 容 ▶講義「ACPの現状と課題」(あおいクリニック 院長 浅井 拓雄氏)
▶もしバナゲーム(もしバナマイスター 小谷 洋子氏)

参 加 者 58人

内訳

- ①医師(2人)
- ②訪問看護師(9人)
- ③歯科医師(4人)
- ④薬剤師(2人)
- ⑤リハ職(2人)
- ⑥行政職員(6人)
- ⑦ケアマネジャー(14人)
- ⑧ホームヘルパー(5人)
- ⑨施設介護員(1人)
- ⑩地域包括支援センター職員(8人)
- ⑪その他の職種(福祉用具相談員等 5人)

参加者の意見

- 年代や人生の経験で価値観が随分違うなと思いました。
- もしもの時は、誰しも必ずやってきます。普段から自分がどうしたいのか考えておく事は必要です。
- 年代や立場によって考え方方が変わる部分は、その都度更新していくことが大切です。
- 年代により大切なことが違うこと、人の意見で揺らぐ気持ちがあることがわかりました。
- 元気なうちからACPを確認していくことが大切だと感じました。
- 気持ちは揺れ動く、ということを改めて認識しました。
- 人により大切なものが異なることを共有できて、新しい発想が感じられました。

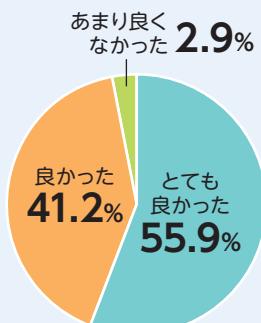


研修の成果

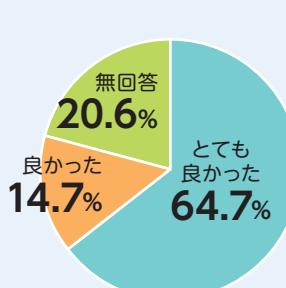
研修を受講した方の多くは、満足度が高く今後の活用についても活かせるとアンケートに答えており、今後のACPの取組に期待できると考えます。

アンケート結果の一部 n=34

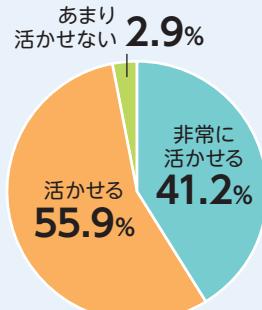
講話の満足度について



「もしバナゲーム」の満足度について



研修の内容は、明日からの実務に活かせそうですか



もしバナゲーム

緑協社保健センター 高齢・障害支援課主催



もしバナマイスター 小谷洋子



今後の方針と次年度に向けて

高齢社会の今、高齢者本人が納得した人生の最後を迎えられるようACPの普及啓発が必要です。今後も幅広い多職種がACPについて理解が深まるよう、在宅みどりネットワークで普及啓発について検討していきます。